

みんなの  
伝言板

## 第42回福祉のつどい エコボックスも好評

第42回福祉のつどいが11月12日に総合福祉センターで行われました。オープニングセレモニーでは赤い羽根共同募金児童生徒作品コンクールの表彰式が行われ、その後ステージではさまざまな団体が音楽やダンスなどを披露。また、つながり広場、しあわせ広場、つどい広場の3会場で参加団体の展示や販売、体験などが行われました。

ささえ愛センター市民交流会議のブースでは、SDGsパネル展示とエコボックス作成が行われました。エコボックスは新聞紙1枚を使って台所の野菜くず入れや車のごみ入れになる箱を作るもの。今回はSDGsにもつながる活動として企画しました。簡単にできるとあって、多くの方が訪れて楽しみ、完成したボックスを持ち帰っていました。同会議の代表で、福祉のつどい実行委員長を務める市原和久さんは「3年ぶりの開催。コロナ感染予防対策で従来のボランティア参加やイベントを縮小して開きましたが、高齢者や地域の人などさまざまな方に楽しんでもらえて良かったです」と話していました。



(写真) ささえ愛センター市民交流会議 代表の市原さん(中央)



(写真) ささえ愛センター市民交流会議ブース エコボックス作品